



2026年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年4月28日

上場会社名 愛知製鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5482 URL <https://www.aichi-steel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 尚英
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部経理部長 (氏名) 村上 賢記 (TEL) 052-603-9227
 定時株主総会開催予定日 2026年6月16日 配当支払開始予定日 2026年6月2日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		当期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	304,341	1.7	17,371	44.6	18,485	55.2	12,959	38.9	11,248	43.8	39,006	—
2025年3月期	299,287	0.9	12,016	15.9	11,907	8.8	9,328	17.2	7,820	18.6	△10,644	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	170.63	170.56	4.8	4.6	5.7
2025年3月期	99.50	99.50	3.2	2.8	4.0

(参考) 持分法による投資損益 2026年3月期 382百万円 2025年3月期 一百万円

(注) 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	398,843	248,926	236,265	59.2	3,690.48
2025年3月期	400,063	243,398	231,936	58.0	3,035.63

(注) 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり親会社所有者帰属持分を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	65,028	△17,288	△51,640	33,574
2025年3月期	25,354	△17,918	△17,674	36,275

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	70.00	—	90.00	160.00	3,101	40.2	1.3
2026年3月期	—	69.00	—	76.00	145.00	9,300	85.0	4.3
2027年3月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00		85.0	

(注) 1 2026年3月期第2四半期末配当金の内訳

普通配当31円00銭 特別配当38円00銭

2026年3月期期末配当金の内訳

普通配当38円00銭 特別配当38円00銭

(注) 2 2027年3月期第2四半期末配当金(予想)の内訳

普通配当36円00銭 特別配当39円00銭

2027年3月期期末配当金(予想)の内訳

普通配当36円00銭 特別配当39円00銭

(注) 3 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期及び2027年3月期(予想)につきましては、当該株式分割後の額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の年間配当金は580円00銭(普通配当276円00銭、特別配当304円00銭)、2027年3月期(予想)の年間配当金は600円00銭(普通配当288円00銭、特別配当312円00銭)となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	151,900	1.4	6,000	△31.7	7,000	△24.8	4,000	△28.6	62.48
通 期	310,000	1.9	17,500	0.7	18,500	0.1	11,300	0.5	176.51

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期	64,520,820株	2025年3月期	76,436,748株
2026年3月期	274,022株	2025年3月期	32,000株
2026年3月期	65,922,693株	2025年3月期	78,594,082株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(注) 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	227,689	△1.7	11,458	9.1	14,039	6.1	28,568	123.1
2025年3月期	231,653	0.4	10,502	65.4	13,233	40.6	12,804	70.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	432.79		—					
2025年3月期	162.92		—					

(注) 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	266,686	152,207	57.1	2,369.10
2025年3月期	273,611	155,709	56.9	2,037.96

(参考) 自己資本 2026年3月期 152,207百万円 2025年3月期 155,709百万円

(注) 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(注) 個別業績における財務数値については、日本基準に基づいております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結財政状態計算書	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	5
連結損益計算書	5
連結包括利益計算書	6
(3) 連結持分変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. 補足情報	13
参考資料〔連結〕	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期の世界経済は、米国のトランプ政権が、中国・カナダ・メキシコ・EU・日本などに対して大幅な追加関税を相次いで導入した結果、各国の対抗措置により、米中間・米欧間などで追加関税が相次ぎ、企業の調達コスト・サプライチェーンコストが上昇、その一部は消費者価格に転嫁され、景気の下押し要因となりました。

このような環境のもと、当連結会計年度の業績につきましては、販売価格の値下がりがあったものの、販売数量の増加により、売上収益は前連結会計年度（299,287百万円）に比べ1.7%増の304,341百万円となりました。

セグメント区分ごとの売上収益は次のようになっております。

鋼カンパニー

主力製品である特殊鋼の販売数量の増加があったものの、販売価格の値下がりにより、当連結会計年度の売上収益は105,567百万円と、前連結会計年度（106,768百万円）に比べ1.1%減少しました。

ステンレスカンパニー

主力製品であるステンレス鋼の販売数量の減少及び販売価格の値下がりにより、当連結会計年度の売上収益は38,897百万円と、前連結会計年度（44,055百万円）に比べ11.7%減少しました。

鍛カンパニー

主力製品である自動車用型打鍛造品の販売数量の増加及び販売価格の値上がりにより、当連結会計年度の売上収益は134,823百万円と、前連結会計年度（125,506百万円）に比べ7.4%増加しました。

スマートカンパニー

電子部品の売上の増加により、当連結会計年度の売上収益は22,107百万円と、前連結会計年度（20,593百万円）に比べ7.4%増加しました。

その他事業

当連結会計年度の売上収益は2,945百万円と、前連結会計年度（2,363百万円）に比べ24.6%増加しました。

利益につきましては、販売価格の値下がりがあったものの、鉄スクラップ等購入品価格の値下がりや工場原価低減、連結子会社の増益などが増益要因となり、営業利益は前連結会計年度（12,016百万円）に比べ44.6%増の17,371百万円となりました。また、税引前利益は前連結会計年度（11,907百万円）に比べ55.2%増の18,485百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前連結会計年度（7,820百万円）に比べ43.8%増の11,248百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、その他の金融資産の増加やバルドマン スペシャル スチール社の持分法適用関連会社化に伴う持分法で会計処理されている投資の計上があったものの、退職給付に係る資産の減少などにより、前連結会計年度末に比べ1,220百万円減の398,843百万円となりました。

負債合計は、未払法人所得税の増加があったものの、借入金の減少などにより、6,748百万円減の149,916百万円となりました。

資本合計は、自己株式の取得及び消却による利益剰余金の減少があったものの、親会社の所有者に帰属する当期利益の計上や確定給付制度の再測定及びその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産に係る純変動の増加などにより、5,528百万円増の248,926百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末(36,275百万円)に比べ、2,701百万円減少し、33,574百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は65,028百万円と前連結会計年度(25,354百万円)に比べ39,674百万円増加しました。これは、税引前利益が18,485百万円と6,578百万円増加、営業債権及びその他の債権の減少による資金の増加2,327百万円(前連結会計年度は、営業債権及びその他の債権の増加による資金の減少1,372百万円)、営業債務及びその他の債務の増加による資金の増加948百万円(前連結会計年度は、営業債務及びその他の債務の減少による資金の減少3,175百万円)、退職給付に係る資産の減少による資金の増加が29,054百万円と28,770百万円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は17,288百万円と前連結会計年度(17,918百万円)に比べ630百万円減少しました。これは、持分法投資の取得による支出6,524百万円(前連結会計年度は該当なし)があったことや定期預金の預入による支出が8,733百万円と6,519百万円増加があったものの、有形固定資産の取得による支出が14,310百万円と7,162百万円減少したことや投資有価証券の売却による収入が10,364百万円と4,995百万円増加したこと、定期預金の払出による収入が3,838百万円と2,553百万円増加したことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は51,640百万円と前連結会計年度(17,674百万円)に比べ33,966百万円増加しました。これは、短期借入れによる収入が28,000百万円と26,781百万円増加があったものの、短期借入金の返済による支出29,207百万円(前連結会計年度は該当なし)があったことや、自己株式の取得による支出が26,258百万円と21,863百万円増加したことなどによるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年度の国際経済は、AI やデジタル技術の高度化による生産性向上を通じて経済成長を押し上げることが期待されますが、地政学リスクの高まりや、貿易摩擦の継続により、不確実性が増しております。日本経済においては、堅調な設備投資が成長を支えることが期待される一方、輸入物価の上昇や労務費の上昇により消費者物価が上昇し、個人消費が抑制される可能性があるなど、下振れリスクは大きいと考えられます。自動車業界では、関税政策の影響を大きく受けるのに加え、世界のBEVシフトは鈍化しているものの、中国メーカーの存在感は一段と増しており、自動車メーカーによる競争は激しさを増すことが予想されます。当社は今後も、特殊鋼や鍛造品など素材や部品を通じてクルマの可能性を広げていくのに加え、自動車の発展に供してきた技術を活かし、広く社会課題解決に資する素材を提供し続ける「環境に一番やさしい鉄屋」として社会に貢献してまいります。

このような状況の中、2027年3月期の連結業績予想といたしましては、売上収益3,100億円、営業利益175億円、税引前利益185億円、親会社の所有者に帰属する当期利益113億円を見込んでおります。

次期の見通し、業績予想は、当社グループの予想に基づく判断によるもので、実際の業績は要因の変化により異なる場合が生じることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に国際会計基準(IFRS)を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	36,275	33,574
営業債権及びその他の債権	63,749	62,125
その他の金融資産	3,481	8,919
棚卸資産	53,410	53,764
その他の流動資産	873	536
流動資産合計	157,789	158,920
非流動資産		
有形固定資産	130,986	129,015
無形資産	2,426	3,896
営業債権及びその他の債権	17	16
その他の金融資産	61,607	69,546
持分法で会計処理されている投資	—	10,877
退職給付に係る資産	46,433	25,493
繰延税金資産	802	898
その他の非流動資産	0	177
非流動資産合計	242,273	239,922
資産合計	400,063	398,843
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	43,708	45,279
借入金	17,549	24,405
その他の金融負債	861	1,674
未払法人所得税	1,724	15,800
その他の流動負債	5,897	4,853
流動負債合計	69,741	92,013
非流動負債		
借入金	47,020	23,065
その他の金融負債	3,990	3,490
退職給付に係る負債	12,209	10,568
引当金	722	702
繰延税金負債	22,646	19,759
その他の非流動負債	334	315
非流動負債合計	86,923	57,902
負債合計	156,664	149,916
資本		
資本金	25,016	25,016
資本剰余金	28,254	28,455
利益剰余金	137,624	131,178
自己株式	△53	△1,015
その他の資本の構成要素	41,093	52,631
親会社の所有者に帰属する持分合計	231,936	236,265
非支配持分	11,462	12,661
資本合計	243,398	248,926
負債及び資本合計	400,063	398,843

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	299,287	304,341
売上原価	259,346	258,001
売上総利益	39,941	46,339
販売費及び一般管理費	27,117	28,373
その他の収益	356	954
その他の費用	1,162	1,548
営業利益	12,016	17,371
金融収益	870	1,579
金融費用	980	840
持分法による投資損益(△は損失)	—	382
持分法による持分変動損益(△は損失)	—	△7
税引前利益	11,907	18,485
法人所得税費用	2,579	5,526
当期利益	9,328	12,959
当期利益の帰属		
親会社の所有者	7,820	11,248
非支配持分	1,507	1,711
合計	9,328	12,959
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益(円)	99.50	170.63
希薄化後1株当たり当期利益(円)	99.50	170.56

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期利益	9,328	12,959
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△17,412	6,136
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 資本性金融資産の純変動	△2,805	12,991
持分法によるその他の包括利益	—	3,770
合計	△20,218	22,898
純損益に振替えられる可能性のある項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 負債性金融資産の純変動	△1	△2
在外営業活動体の換算差額	247	3,094
持分法によるその他の包括利益	—	56
合計	245	3,148
税引後その他の包括利益	△19,972	26,046
当期包括利益	△10,644	39,006
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△12,127	36,439
非支配持分	1,483	2,566
合計	△10,644	39,006

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2024年4月1日残高	25,016	28,232	151,302	△867
当期利益	—	—	7,820	—
その他の包括利益	—	—	—	—
当期包括利益	—	—	7,820	—
自己株式の取得	—	—	—	△4,395
自己株式の処分	—	—	△21	55
自己株式の消却	—	—	△5,154	5,154
剰余金の配当	—	—	△2,567	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	22	—	—
利益剰余金への振替	—	—	△13,755	—
所有者との取引額等合計	—	22	△21,498	814
2025年3月31日残高	25,016	28,254	137,624	△53

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	合計	非支配持分	資本合計
確定給付 制度の 再測定	在外営業 活動体の 換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産 に係る純変動					
2024年4月1日残高	—	5,929	41,356	47,286	250,970	11,040	262,010
当期利益	—	—	—	—	7,820	1,507	9,328
その他の包括利益	△17,406	262	△2,803	△19,947	△19,947	△24	△19,972
当期包括利益	△17,406	262	△2,803	△19,947	△12,127	1,483	△10,644
自己株式の取得	—	—	—	—	△4,395	—	△4,395
自己株式の処分	—	—	—	—	34	—	34
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	△2,567	△1,035	△3,602
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	22	△25	△3
利益剰余金への振替	17,406	—	△3,651	13,755	—	—	—
所有者との取引額等合計	17,406	—	△3,651	13,755	△6,906	△1,060	△7,967
2025年3月31日残高	—	6,191	34,901	41,093	231,936	11,462	243,398

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
2025年4月1日残高	25,016	28,254	137,624	△53
当期利益	—	—	11,248	—
その他の包括利益	—	—	—	—
当期包括利益	—	—	11,248	—
自己株式の取得	—	—	—	△26,258
自己株式の処分	—	—	2	81
自己株式の消却	—	—	△25,214	25,214
剰余金の配当	—	—	△6,136	—
支配継続子会社に対する 持分変動	—	200	—	—
利益剰余金への振替	—	—	13,654	—
所有者との取引額等合計	—	200	△17,695	△962
2026年3月31日残高	25,016	28,455	131,178	△1,015

	親会社の所有者に帰属する持分								
	その他の資本の構成要素								
	確定給付 制度の 再測定	在外営業 活動体の 換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産 に係る純変動			持分法による その他の 包括利益	合計	非支配持分	資本合計
			利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産	持分法による その他の 包括利益	合計				
2025年4月1日残高	—	6,191	34,901	—	41,093	231,936	11,462	243,398	
当期利益	—	—	—	—	—	11,248	1,711	12,959	
その他の包括利益	6,135	2,287	12,941	3,827	25,191	25,191	855	26,046	
当期包括利益	6,135	2,287	12,941	3,827	25,191	36,439	2,566	39,006	
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△26,258	—	△26,258	
自己株式の処分	—	—	—	—	—	83	—	83	
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—	—	—	
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△6,136	△975	△7,111	
支配継続子会社に対する 持分変動	—	—	—	—	—	200	△392	△192	
利益剰余金への振替	△6,135	—	△7,517	△1	△13,654	—	—	—	
所有者との取引額等合計	△6,135	—	△7,517	△1	△13,654	△32,110	△1,368	△33,478	
2026年3月31日残高	—	8,479	40,326	3,825	52,631	236,265	12,661	248,926	

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	11,907	18,485
減価償却費及び償却費	19,072	18,039
減損損失	152	—
有形固定資産及び無形資産除売却損	541	578
持分法による投資損益(△は益)	—	△382
棚卸資産の増減額(△は増加)	822	685
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,372	2,327
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△3,175	948
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	284	29,054
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△612	△225
その他の流動負債の増減額(△は減少)	82	△1,323
その他	160	△59
小計	27,863	68,128
利息の受取額	182	189
配当金の受取額	652	735
利息の支払額	△385	△553
法人所得税の支払額	△2,957	△3,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,354	65,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,472	△14,310
有形固定資産の売却による収入	47	141
有形固定資産の廃却による支出	△198	△359
無形資産の取得による支出	△751	△2,352
投資有価証券の売却による収入	5,369	10,364
持分法投資の取得による支出	—	△6,524
定期預金の預入による支出	△2,214	△8,733
定期預金の払出による収入	1,285	3,838
その他	15	647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,918	△17,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,219	28,000
短期借入金の返済による支出	—	△29,207
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	4,983	—
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	—	△5,133
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△15,005	△11,105
リース負債の返済による支出	△873	△838
自己株式の取得による支出	△4,395	△26,258
配当金の支払額	△2,565	△6,128
非支配持分への配当金の支払額	△1,035	△977
その他	△3	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,674	△51,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	1,200
現金及び現金同等物の減少額	△10,271	△2,701
現金及び現金同等物の期首残高	46,546	36,275
現金及び現金同等物の期末残高	36,275	33,574

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはカンパニー制を採用しており、製品軸ごとに区分した各カンパニーにおいて、製造から販売まで一貫した事業企画・運営をするとともに、国内外子会社をカンパニーに振り分け、グループ一体での事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、「鋼(ハガネ)カンパニー」「ステンレスカンパニー」「鍛(キタエル)カンパニー」「スマートカンパニー」「その他事業」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主な製品及びサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主な製品及びサービス
鋼(ハガネ)カンパニー	特殊鋼(熱間圧延材)、製鋼用資材
ステンレスカンパニー	ステンレス鋼及びチタン(熱間圧延材、二次加工品)、ステンレス鋼構造物エンジニアリング
鍛(キタエル)カンパニー	型打鍛造品(自動車部品粗形材、機械部品粗形材など)、鍛造用金型加工品
スマートカンパニー	電子機能材料・部品、磁石応用製品、植物活性材、金属繊維
その他事業	子会社によるコンピュータソフト開発、物品販売、緑化

(2) 報告セグメントに関する情報

セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の項目に関する情報は以下のとおりであります。

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	鋼 (ハガネ) カンパニー	ステンレス カンパニー	鍛 (キタエル) カンパニー	スマート カンパニー	その他	計		
売上収益								
外部顧客への 売上収益	106,768	44,055	125,506	20,593	2,363	299,287	—	299,287
セグメント間の 内部売上収益	40,638	22	—	—	13,663	54,324	△54,324	—
計	147,407	44,078	125,506	20,593	16,026	353,612	△54,324	299,287
セグメント利益	5,352	2,334	2,465	831	896	11,881	135	12,016
金融収益								870
金融費用								980
税引前利益								11,907

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。
 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3 セグメント利益は営業利益に基づいており合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額	連結
	鋼 (ハガネ) カンパニー	ステンレス カンパニー	鍛 (キタエル) カンパニー	スマート カンパニー	その他	計		
売上収益								
外部顧客への 売上収益	105,567	38,897	134,823	22,107	2,945	304,341	—	304,341
セグメント間の 内部売上収益	40,795	10	—	—	14,542	55,348	△55,348	—
計	146,363	38,907	134,823	22,107	17,487	359,689	△55,348	304,341
セグメント利益	8,160	400	6,646	1,375	1,005	17,588	△216	17,371
金融収益								1,579
金融費用								840
持分法による投資損益(△は損失)								382
持分法による持分変動損益(△は損失)								△7
税引前利益								18,485

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。
 2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3 セグメント利益は営業利益に基づいており合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
基本的1株当たり当期利益算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	7,820	11,248
親会社の普通株主に帰属しない当期利益(百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益(百万円)	7,820	11,248
普通株式の加重平均発行済株式数(千株)	78,594	65,922
基本的1株当たり当期利益(円)	99.50	170.63
希薄化後1株当たり当期利益算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益(百万円)	7,820	11,248
当期利益調整額(百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益(百万円)	7,820	11,248
普通株式加重平均発行済株式数(千株)	78,594	65,922
希薄化性潜在的普通株式の影響		
株式報酬(千株)	—	25
希薄化後の普通株式加重平均発行済株式数(千株)	78,594	65,948
希薄化後1株当たり当期利益(円)	99.50	170.56

(注) 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報
参考資料〔連結〕

1. 売上

(1) 売上数量(単独)

(単位:千トン、%)

	前期	当期	前期比増減		次期予想	
	2025年3月期	2026年3月期		増減率	2027年3月期	増減率
鋼カンパニー	674	693	19	2.9	716	3.2
ステンレスカンパニー	52	45	△7	△13.2	49	7.0
鍛カンパニー	235	241	6	2.5	244	1.1
合計	962	980	18	1.9	1,009	2.9

(2) セグメント別売上収益

(単位:百万円、%)

	前期		当期		前期比増減	
	2025年3月期		2026年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比		増減率
鋼カンパニー	106,768	35.7	105,567	34.7	△1,201	△1.1
ステンレスカンパニー	44,055	14.7	38,897	12.8	△5,158	△11.7
鍛カンパニー	125,506	41.9	134,823	44.3	9,317	7.4
スマートカンパニー	20,593	6.9	22,107	7.2	1,514	7.4
その他	2,363	0.8	2,945	1.0	582	24.6
合計	299,287	100.0	304,341	100.0	5,054	1.7

2. 業績

(単位:百万円、%)

	前期	当期	前期比増減		次期予想	
	2025年3月期	2026年3月期		増減率	2027年3月期	増減額
売上収益	299,287	304,341	5,054	1.7	310,000	5,659
営業利益	12,016	17,371	5,355	44.6	17,500	129
税引前利益	11,907	18,485	6,578	55.2	18,500	15
親会社の所有者に帰属する当期利益	7,820	11,248	3,428	43.8	11,300	52
1株当たり当期利益 ※1	99円50銭	170円63銭			176円51銭	
1株当たり配当金 ※2※3※4	160円00銭	145円00銭			150円00銭	
設備投資額	18,616	16,928	△1,688	△9.1	20,000	
減価償却費	19,072	18,039	△1,033	△5.4	18,000	

※1 2025年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期利益を算定しております。

※2 1株当たり配当金の当期実績には普通配当69円00銭(中間配当31円00銭、期末配当38円00銭)に加え、特別配当76円00銭(中間配当、期末配当とも38円00銭)を含んでおります。

※3 1株当たり配当金の次期予想には普通配当72円00銭(中間配当、期末配当とも36円00銭)に加え、特別配当78円00銭(中間配当、期末配当とも39円00銭)を含んでおります。

※4 1株当たり配当金の前期実績につきましては、※1に記載しております株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。当期実績および次期予想につきましては、当該株式分割後の額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の当期の年間配当金は580円00銭(普通配当276円00銭、特別配当304円00銭)、次期予想の年間配当金は600円00銭(普通配当288円00銭、特別配当312円00銭)となります。

3. 当期(2026年3月期) 営業利益の増減益要因(対前期比)

(単位:億円)

増益要因		減益要因	
1. 販売数量	4	1. 販売価格(うち為替変動の影響 △1)	△56
2. 購入品価格(うち為替変動の影響 +5)	62		
(原材料 +39			
・鉄スクラップ +18			
・購入鋳片 +21			
エネルギー等 +23			
3. 工場原低	18		
4. 連結子会社の営業利益増	25		
計	109	計	△56
差引	53		

4. 四半期毎の業績推移

(単位:百万円)

	前期(2025年3月期)				当期(2026年3月期)			
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)
売上収益	71,933	73,030	76,908	77,415	75,086	74,721	76,885	77,647
営業利益	1,485	1,812	4,409	4,308	4,528	4,256	5,647	2,939
税引前利益	1,875	1,132	5,049	3,849	4,610	4,694	6,161	3,018
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,122	560	3,975	2,161	3,568	2,037	4,051	1,591